

## 【一般社団法人新潟市青色申告会長賞】

### 「税がなぜあるのか」

新潟市立下山中学校

三年 櫻田 成実

私は、家族とよく買い物をする。ある日いつも通り買い物をしていると、お財布の中にレシートがたまっていることに気づいた。家に帰ってからレシートを整理していると、レシートの「小計額」の下に「課税一〇%外税」と書いてありその下に「合計」と書かれてあって、「小計額」よりも少し大きい金額が記されていた。それを疑問に思い、インターネットで調べてみることにした。

調べてみると、「課税」が税金を課することで、「外税」が税抜きで消費税を別表記しているものと分かった。つまり「課税一〇%」で商品の一〇%分の税を課しているから「小計額」よりも一〇%分「合計」が大きくなっていると分かった。けれどなぜ一〇%分多くのお金を払わなければいけないのかと疑問に思ったのでそれについて調べた。すると主に年金や医療など社会保障の財源確保のため、だと知った。また、「税」は「国税」と「地方税」に分かれており、「国税」には、「所得税」、「法人税」、「消費税」などがあって、「地方税」には「自動車税」、「不動産取得税」、「固定資産税」、「地方消費税」、「入湯税」があることが分かった。これら全ての税の中で、税金を負担する人が直接国や地方公共団体に納める税金の「直接税」と実質的に税金を負担する人とそれを納める人が異なる税金の「間接税」の2つにも、分かれていると知

った。そして「国税」の一年間に国に納められる税金は、約六十九兆四千四百億円と知り、数字で聞くとやっばりすごく大きくて驚いた。また、「県税」の一年間に納められる税金は、約二千八百十一億円、「市町村税」の一年間に納められる税金は、約三千三百七十三億円ということが分かった。私達が納めるこれらの税金は、教育、除雪、医療介護、新エネルギー対策、災害からの復興、ごみの処理、地域医療の充実などのさまざまなことで使われていると知り、すごく嬉しく感じた。私は、税金のさまざまな使い道の中の、教育が気になったので調べてみることにした。すると、私達が学校で使っている教科書や机、いす、校舎の建設や修理も全て税金でまかなっていると知り、思っていた以上だった。

このように、税金にはいろいろなものがあり、その中でも今の私も払うことがある「消費税」は、年々増えているけれど、将来世代の私達の未来の負担を少しでも減らすため、きちんと払っていかうと思う。また、税金でまかなわれているうちの一つの教育は、紛争や内戦で十分な教育を受けられない子どもたちもたくさんいる中で、私が学習できる環境にあることは当たり前ではないので、感謝しながら、これから学習していこうと思う。そして、このような子どもたちのために、私達の税金を上手く利用してほしいと思う。